

# 江戸のバイオテクノロジー よみがえる変化朝顔

平成26年9月23日(火・祝)  
14時~16時(13時開場)



江戸時代の図譜に描かれた変化朝顔

江戸時代には様々な園芸文化が流行しました。その中でもひととき異彩を放つのが、突然変異により朝顔とは思えない形に変化した「変化朝顔」です。  
この日本の文化遺産ともいえる変化朝顔と園芸の歴史を遺伝学を交えて紹介します。

会場：広島市こども文化科学館 1階 アポロホール  
(中区基町5-83)

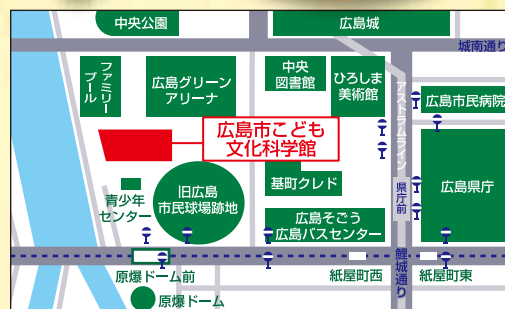
講師：九州大学大学院 理学研究院 講師 仁田坂 英二 氏

**入場無料**

定員：200名(応募多数の場合は抽選)

※事前の参加申込が必要です。詳しくは裏面をごらんください。

交通案内：市内電車「原爆ドーム前」下車300メートル



駐車場はありません。公共交通機関をご利用下さい。

お問い合わせ

(公財) 広島市文化財団 文化財課 〒732-0052 広島市東区光町2-15-36  
tel:082-568-6511 fax:082-568-6513 <http://www.mogurin.or.jp>

# 講師紹介



Eiji Nitasaka

◆ 専門:遺伝学・分子生物学、理学博士

## 仁田坂 英二

PROFILE

1962年大分県生まれ。九州大学大学院医学系研究課博士課程修了。ハーバード大学博士研究員、科学技術振興事業団さきがけ研究者兼任等を経て、現在は九州大学大学院理学研究院講師、文部科学省ナショナルバイオリソースプロジェクト「アサガオ」代表。

変化朝顔(アサガオの突然変異体)の原因遺伝子の研究や系統保存、植物の形態形成機構の研究を行う。江戸時代の園芸・文化・文献等にも詳しく、アサガオ関連のメディア(新聞・テレビ・雑誌等)にも多数執筆・出演し、国立歴史民俗博物館・日本園芸学会など各機関で、変化朝顔を通して日本文化の普及・啓発を行う。

お問い合わせ (公財) 広島市文化財団 文化財課  
tel:082-568-6511 fax:082-568-6513

申込方法 往復はがき(1枚につき1家族まで)でお申込みください。  
往信用はがきに①催し名 ②応募者全員の氏名(ふりがな) ③郵便番号・住所 ④電話番号を、  
返信用はがきに応募者の住所・氏名をご記入のうえ、下記送付先へお申込ください。

送付先 〒732-0052 広島市東区光町2-15-36 (公財) 広島市文化財団 文化財課 行

### 往復はがきの記入方法

往信用(おもて)	返信用(うら)	返信用(おもて)	往信用(うら)
52円 往信 732-0052 (公財)広島市文化財団 文化財課 行 広島市東区光町2-15-36	※注意 返信はがきの裏面は何も 記入しないでください	52円 返信 郵便番号 (申し込む方の) 住所・氏名	① 講演会 江戸のバイオテクノロジー よみがえる変化朝顔 (ふりがな) ② 応募者全員の氏名 ③ 郵便番号・住所 ④ 電話番号

申込期限: 9月5日(金) 消印有効